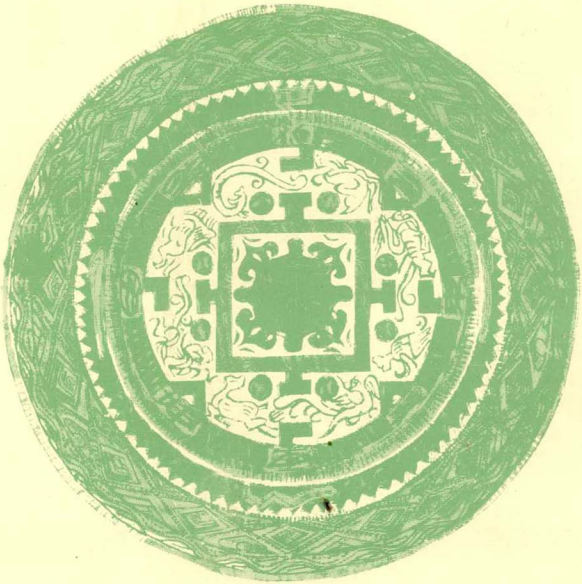
杉谷昭人詩集

人間の生活

—続・宮崎の地名—



現代九州詩人叢書 4

杉谷昭人詩集

人間の生活

現代九州詩人叢書 4

杉谷昭人（すぎたにあきと）

1935年（昭10）　北朝鮮鎮南浦府生

「赤道」同人

詩集「日之影」（1965年 思潮社）

「わが町」（1976年 鉱脈社）

「杉の柩」（1982年 鉱脈社）

「宮崎の地名」（1985年 鉱脈社）

現住所　宮崎市花ヶ島町三反田699－4　〒880

詩集人間の生活—続・宮崎の地名—　現代九州詩人叢書4

1990年7月15日初版発行

1991年3月20日2刷発行

著者　杉谷昭人

発行者　川口敦己

発行所　鉱脈社

宮崎市田代町263番地 電話0985-25-1758

定価1,500円（本体1,456円）〒880　振替　鹿児島7－2367

Akito Sugitani©1990

印刷所／有限会社鉱脈社

製本所／日宝綜合製本株式会社

落丁、乱丁本がありましたら、お買求めの書店もしくは発行所にてお取替えいたします。

目

次

Ⅰ

上(そら) 8

垣(かき)の内(うち) 10

雲雀山(ひばりやま) 12

狩(かり)底(ぞこ) 14

礫(さ)土(れ) 16

赤(あか)谷(だに) 18

小(こ)春(はる) 20

切(きり)通(どおし) 22

Ⅱ

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

岬（みさき） 26
内之畑（うちのくぼ） 28
新道（しんどう） 31
段畑（だんばたけ） 34
山陰（やまげ） 37
日の底（ひのそこ） 40
天水峠（あまみずとうげ） 42
柿木原（かきのきばる） 45
二又（ふたまた） 48

Ⅲ

花群（はなむれ） 52
九左衛門峠（くざえもんとうげ） 56

中之又（なかのまた） 59
勝負（しょうぶ） 62
児洗（こあらい） 64
平和（へいわ） 66
蛇谷（じゃだに） 68
名貫川（なぬきがわ） 70
解説　みえのふみあき 73
あとがき 90
初出誌一覧 92

人間の生活—続・宮崎の地名—

I

上（そら）

この山道をのぼりつめて
そこをそらという
とつぜん野菊が吹きみだれていて
しかし風は四方からわずかにあるだけで
そこをそらという
わたしは肩から鍬をおろし
小さな畑を打つ
そこから先はもう下り道で
わたしの知らない町が遠くに見えている

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

昼餉をつかいながら目を上げると
白い雲がながれていく
その向こうにひろがる世界はあくまで青く
厳しく深い
わたしは鍬をかついで
今日もそらにのぼる
もう冬も近い
耕す仕事は終ったのだが
耕すべきものは残っているかもしれぬ
この山道の行きつくところ
村びとだけがのぼる狭い険しい峠
そこをそらという

（宮崎の地名　19）

垣(かき)の内(うち)

そこにただ咲いているから
薔薇というのだ
刈りこみすぎた若葉がにがく匂うから
そう呼ぶのではない
花びらが一日を純粋に染めていくから
そう呼ぶのでもない
この花の垣を思いたった農夫は
わが家のうちそとをへだてようとしたのではあるまい
ただおのれの日常の規範となるものを

何か気ながに育てようとした
それだけのことなのだ
そしておのれの求めていたものが
あまりにも厳しいすがたをしていることに
いくらかとまどっているのだろう
それで彼は寡黙になってしまったのだ
今朝も村びとたちが垣の向こうを過ぎていく
しかしいまの関心事は今日の山の日和だ
村びとたちが
垣の内側にひらくもののやさしさに気付くのは
たぶん日暮れて帰りみちのことになるのだ

（宮崎の地名　20）

雲雀山（ひばりやま）

雲の端に巣を掛けてはならないと
そんな法がどこにあろう
空のきわみからまた空に飛び立ってはならないと
そんな掟がどの村にあろう
雨上がりの麦畑から目を上げると
雲の端はたしかに太陽の渕に重なり
一日のくらしに疲れきってなお
風の径にそって麦を刈りすすめる人があり
日に飽きて日を恨みつつなお

思いをさらに高く置く人がいる
いまわたしの巣を避けるようにして
その人の鎌の影が過ぎていった
このわずか一尺の高みに駈けあがるまでに
わたしは幾度この土地から転げ落ちるか
不意の嘔吐に幾夜ほどを耐えきって
この危険な感情を新しい日常の規範となしうるか
わたしの巣で雲の渕がかげる日
わたしの声はその人に届くであろうか

（宮崎の地名　21）

狩底（かりぞこ）

ためらいはいつもわずか
けものたちを追っていく
ふかい山の真昼日には
朴の木の影にたじろぎ
高嶺菫の株さえ跨ぎそこねて
岩場の底はまだはるか遠くだ
撃鉄を引く指を矯めるのではない
猟犬の鼻と太陽を
われら自慢の脚力とともに控えさせてしまうのだ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com